1人でも多くの若者と、地域の未来を切り拓くために
ご寄付をお願いします
方法❷ 「毎月の定額寄付」 で応援する
皆さまからのご寄付は「地域みらい留学」をはじめ、
地域・教育魅力化プラットフォームの活動全般に活用します。
　ご寄付を通じて応援してくださる皆様に、
定期的なメールマガジンや寄付者専用SNSグループ、報告書等を通じて
活動をお知らせいたします。
　「地域みらい留学応援自動販売機」を設置いただくと、売上金額の一部が弊財団への寄付と
なります。 2024年3月末時点で、全国に41台設置（高校・民間企業・公共施設）いただいています。
手続きの詳細については、弊財団へ直接ご相談ください。
　マンスリーサポーターとして継続的に決まった額を寄付
いただく方法です。寄付金額は1ヶ月1,000円（年間
12,000円）から自由に設定いただけます。継続寄付の停止、
停止後の再開はいつでも可能です。
■ 申し込み方法： クレジットカードでの決済
※クレジットカード（VISA/Master/JCB/American Express/
　Diners Club）による毎月自動引き落としとなります。
寄付についての
詳細はこちらから ▶
方法 ❸ 「 寄付型自販機設置」 で応援する
自動販売機イメージ
〒690-0842 島根県松江市東本町二丁目256 みらいBASE2階
TEL: 0852-61-8866　FAX: 0852-61-8867
MAIL: info@c-platform.or.jp
HP: https://c-platform.or.jp/
［ 佐賀事務所 ］ 〒842-0302 佐賀県佐賀市三瀬村藤原3813-3
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
※総務省の通知（平成31年総務省告示第179号第2条第1号ニ）により佐賀県民の皆様からのご寄付につきましては、お返しの品をお選びいただ
　けないことになっております。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。
方法 ❶ 「ふるさと納税」 で応援する
① 税制優遇
　地域・教育魅力化プラットフォームが事務所を設置している佐賀県のふるさと納税に、弊財団を指定してご寄付
いただくことで、地域みらい留学をはじめとした活動全般をご支援いただけます。
　通常のふるさと納税と同様に、2千円
を超える部分の寄付金が所得税・住民税
から控除されます。
■ 企業版ふるさと納税 ＼ 企業版ふるさと納税によるご支援も受け付けています！ ／
　島根県海士町を通じて弊財団の特定活動に対する企業版ふるさと納税でご支援いただけます。 最大9割の減税となる可能性があり
ます。手続きの詳細については、弊財団へ直接ご相談ください。
② 地域の特産品
　活動に共感いただいた事業者より佐賀県
の特産品（返礼品）を数多くご用意させて
いただいております。
③ 豊富な決済方法
　 クレジットカード決済をはじめ、
「PayPay」や「Amazon Pay」などの決済
方法に対応しています。
返礼品ありの場合 ▶ 寄付上限額をシミュレーション
したい方はこちら ▶ 返礼品なしの場合 ▶
ホームページ Facebook
X
ANNUAL REPORT 2023
活動報告書

Result
意志ある若者にあふれる
持続可能な地域・社会をつくる
2017年の設立以来、高校魅力化のうねりが
全国へ広がりつつあります。
　　「部活や授業の選択肢が少ない」、「他の地域
やいろんな生き方、仕事を知りたい」といった小規
模高校の生徒の声を受けて構想がスタート。
2023年度は、生徒が地域や高校を越えて交流し、
オンラインも活用しながら企業や大学、社会人と
も関わることができる環境に向けて実証を重ね
る。国内単年留学や短期越境を通して留学生だけ
でなく多くの地元生や地域、大人が刺激を与え合
う自由越境圏を目指す。
みらいハイスクール構想
　2022年度からスタートしたコーディネーター採用配
置支援事業は、これまでに33市町村が参画し、採用イベ
ントには247名が参加（2022年度は164名）。
また「高校コーディネーター全国フォーラム
（主催 文部科学省）」を開催し全国から135名
が参加。
　2018年の開発以降、多くの高等学校・高等専
門学校にご利用いただき、2023年度は全国約
346校、約11万9千人が回答。2023年度より、
Web上で結果を集計・閲覧できる新システムで
の提供を開始。
※2022年度は約300校10万人が回答
高校魅力化評価
システム事業
■受け入れ校一覧（144校）　
［北海道］
北海道夕張高等学校
北海道福島商業高等学校
北海道知内高等学校
北海道奥尻高等学校
北海道ニセコ高等学校
北海道栗山高等学校
北海道月形高等学校
北海道東川高等学校
北海道おといねっぷ美術工芸高等学校
北海道幌加内高等学校
北海道苫前商業高等学校
北海道礼文高等学校
北海道美幌高等学校
北海道斜里高等学校
北海道置戸高等学校
北海道湧別高等学校
北海道大空高等学校
北海道追分高等学校
北海道鵡川高等学校
北海道平取高等学校
北海道上士幌高等学校
北海道鹿追高等学校
北海道更別農業高等学校
北海道大樹高等学校
北海道池田高等学校
北海道厚岸翔洋高等学校
北海道霧多布高等学校
北海道標茶高等学校
北海道弟子屈高等学校
北海道白糠高等学校
北海道標津高等学校
釧路工業高等専門学校
北海道清水高等学校
［青森県］
青森県立鰺ヶ沢高等学校
青森県立三戸高等学校
青森県立柏木農業高等学校
青森県立名久井農業高等学校
青森県立大間高等学校
［岩手県］
岩手県立沼宮内高等学校
岩手県立葛巻高等学校
岩手県立平舘高等学校
岩手県立大迫高等学校
岩手県立遠野高等学校
岩手県立遠野緑峰高等学校
岩手県立西和賀高等学校
岩手県立住田高等学校
岩手県立大槌高等学校
岩手県立岩泉高等学校
岩手県立伊保内高等学校
岩手県立種市高等学校
岩手県立宮古水産高等学校
［宮城県］
宮城県中新田高等学校
宮城県南三陸高等学校
［秋田県］
秋田県立男鹿海洋高等学校
［山形県］
山形県立村山産業高等学校
山形県立新庄南高等学校金山校
山形県立新庄北高等学校最上校
山形県立小国高等学校
山形県立遊佐高等学校
［福島県］
福島県立只見高等学校
福島県立川口高等学校
［茨城県］
茨城県立大子清流高等学校
［群馬県］
群馬県立嬬恋高等学校
［新潟県］
新潟県立羽茂高等学校
新潟県立阿賀黎明高等学校
［富山県］
富山県立南砺平高等学校
［石川県］
石川県立七尾東雲高等学校
石川県立能登高等学校
［福井県］
福井県立丸岡高等学校
福井県立若狭高等学校
［長野県］
長野県白馬高等学校
［静岡県］
静岡県立川根高等学校
静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校
［三重県］
三重県立昴学園高等学校
［滋賀県］
滋賀県立信楽高等学校
［兵庫県］
兵庫県立村岡高等学校
［奈良県］
五條市立西吉野農業高等学校
［和歌山県］
和歌山県立串本古座高等学校
［鳥取県］
鳥取県立岩美高等学校
鳥取県立智頭農林高等学校
鳥取県立青谷高等学校
鳥取県立倉吉農業高等学校
鳥取県立境高等学校
鳥取県立日野高等学校
鳥取県立境港総合技術高等学校
［島根県］
島根県立浜田水産高等学校
島根県立情報科学高等学校
島根県立横田高等学校
島根県立飯南高等学校
島根県立島根中央高等学校
島根県立矢上高等学校
島根県立津和野高等学校
島根県立吉賀高等学校
島根県立隠岐島前高等学校
島根県立隠岐高等学校
島根県立隠岐水産高等学校
［岡山県］
岡山県立和気閑谷高等学校
岡山県立勝山高等学校蒜山校地
岡山県立高梁城南高等学校
［広島県］
広島県立加計高等学校
広島県立加計高等学校芸北分校
広島県立西城紫水高等学校
広島県立大崎海星高等学校
［山口県］
山口県立周防大島高等学校
［徳島県］
徳島県立池田高等学校
徳島県立城西高等学校神山校
徳島県立那賀高等学校
徳島県立海部高等学校
［愛媛県］
愛媛県立長浜高等学校
愛媛県立野村高等学校
愛媛県立弓削高等学校
愛媛県立上浮穴高等学校
愛媛県立松山南高等学校砥部分校
愛媛県立内子高等学校小田分校
愛媛県立三崎高等学校
愛媛県立北宇和高等学校
［高知県］
高知県立室戸高等学校
高知県立嶺北高等学校
高知県立梼原高等学校
高知県立四万十高等学校
高知県立中村高等学校西土佐分校
高知県立大方高等学校
［佐賀県］
佐賀県立有田工業高等学校
佐賀県立唐津青翔高等学校
［長崎県］
長崎県立北松西高等学校
［熊本県］
熊本県立小国高等学校
熊本県立芦北高等学校
熊本県立上天草高等学校
熊本県立矢部高等学校
熊本県立天草拓心高等学校 マリン校舎
［大分県］
大分県立安心院高等学校
大分県立国東高等学校
大分県立久住高原農業高等学校
［宮崎県］
宮崎県立飯野高等学校
宮崎県立高鍋農業高等学校
宮崎県立高千穂高等学校
［鹿児島県］
鹿児島県立川辺高等学校
鹿児島県立薩南工業高等学校
鹿児島県立南大隅高等学校
鹿児島県立屋久島高等学校
鹿児島県立古仁屋高等学校
鹿児島県立喜界高等学校
鹿児島県立種子島高等学校
［沖縄県］
沖縄県立久米島高等学校
35道県140校以上
2018
2019
2020
2021
2022
1,173名
2,093名
3,456名
4,024名
4,368名
2019
2020
2021
2022
2023
55校
63校
70校
92校
102校
144校
2023
5,232名
2024
地域みらい留学合同学校説明会
来場者数 ［ ］［ 地域みらい留学受け入れ校 ］
都道府県伴走事業
　都道府県教育委員会へ伴走支援し、
各県立高校の現状把握・目標設定を行
う。（コーディネーターの育成・指定高校
の魅力化等）2023年度までに、群馬・高
知・佐賀・長崎の4県にて実施。
しまね事業
　島根県と協働しながら、県内の教育魅
力化を推進。（例: 高校魅力化コンソーシア
ムの構築支援や教員・コーディネーター
向け研修の企画・運営、卒業生コミュニ
ティの形成等）また、島根県内の経済界と
共に、高校生向け探究プログラムも展開。
 ２
０
２
３
年
度
の
実
績
報
告
コーディネーター
採用育成事業
　都道府県の枠を越えて、生徒が全国各地の魅力ある公立
高校に進学できる仕組み。高校進学の選択肢を広げ、子ども
たちに様々な学びの環境を提供し、それと同時に過疎地域
の少子高齢化、人口減少問題の解決を目的としている。
　2024年度には、800名以上が入学。累計の留学者数は
3100名を越える。受け入れ校は35道県140校以上へ拡大す
るなど展開を広げている。
※2024年6月25日時点
02 03

Voice
留
学
生
の
声
越境体験で広がる
若者の未来
「都市部から地方へ」 「原風景に惹かれて」
「今までと異なる環境でチャレンジ」など
高校生や卒業生の声を紹介します。
小川 萌衣（愛知県名古屋市出身）
｜ 山形県立遊佐高校
　 東北公益文科大学2年生
地域とのつながりと
挑戦の経験が未来を拓く
　矢上高校は地域から多くのボランティアを募っているので、地元のお祭
りの司会やイルミネーションの手伝い等、地域と沢山かかわることができ
ました。また、留学中に参加したプロジェクトで、成功のために試行錯誤し
たり、自分の想いを伝えるために工夫したりした経験は今後にも活かせる
と感じました。
　今後も地域みらい留学のように新しい土地でチャレンジしていきたいと
考えています！
生き物と人との出会いを
追いかける高校生活
　もともと、動物や虫などの生き物が好きで、生き物と身近にいられる高
校生活を送りたくて、地域みらい留学をしようと思いました。夏は江の川
でイカダを作ったり、山に行って虫を捕まえたり、冬は雪も沢山降ります。
東京よりいいなと思うし、楽しいです。
　実は高校2年生からは山形県小国町へ1年間、留学をします。小国町で
は、東北地方ならではの生き物と触れ合うことはもちろん、第一次産業を
やられている方と話をしてみたいです。生き物を見て、人と喋って、その中
で知識が増えると人生楽しくなると思っています。色んな価値観や文化、
考え方との出会いが楽しみです。
大河 忠斗（東京都出身）
｜ 島根県立島根中央高等学校
永倉 琉晟（神奈川県出身）
｜ 島根県立矢上高等学校
遊佐町で見つけた
小さな幸せと成長
　私が地域みらい留学で遊佐町を選んだ理由は、地域の人があたたかく
て、ここに住んだら何か自分が変われるかもしれないと思ったからです。
　実際に3年間過ごして、日々に感謝できるようになりました。考え方もポ
ジティブに変わったと思います。日常の中には結構小さな幸せが転がって
いて、日々恵まれている事に気づくことができました。今後は町づくりにつ
いて学び、遊佐町を盛り上げる1人になりたいです。
04 05

パーソルグループは「はたらいて、笑おう。」というグループビジョンの
もと、総合人材サービス企業として「はたらくWell-being」の実現を目指
しています。「はたらくWell-being」とは、はたらくことを通して充実感や
幸せを感じられることを示しており、自分自身で意志を持って自分の
「はたらく」を選択することが重要であることがわかっています。
　地域・教育魅力化プラットフォームが目指す「意志ある若者にあふれる
持続可能な地域・社会をつくる」というビジョンの実現を後押しすること
を通して、正解がない世の中で意志を持って選択する若者が増え、社会
に出てからも自分のはたらくを自己選択できる人に溢れる社会をともに
目指していきたいと考えております。
パーソルホールディングス株式会社
代表メッセージ
パーソルホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO
和田 孝雄
公認会計士・税理士
古里 圭史
1979年生まれ。岐阜県飛騨市（古川町）出
身。早稲田大学卒業後、株式会社スクウェ
ア・エニックス、デロイトトーマツグループの
監査法人、飛騨信用組合を経て独立。独
立後の2018年に会計事務所グラスルーツ
アカウンティングファーム、2021年に金融や
まちづくりに関するコンサルティング業務を
行う株式会社リトルパークを設立。現在、高
山市を中心に全国の事業者の税務顧問業
務などを行いながら、IPO(新規株式上場)
やスタートアップ支援、監査業務、経営に関
するコンサルティングなどを行う。株式会社
リトルパーク代表取締役 / 公認会計士・税
理士。島根県立隠岐島前高校 学校経営補佐官
一般財団法人島前ふるさと魅力化財団 理事
AMAホールディングス株式会社 代表取締役
大野 佳祐
1979年東京生まれ。15歳のブラジル
へのサッカー留学、19歳のバングラデ
シュへの旅を契機に海外での医療・
教育支援活動をスタート。30歳でバン
グラデシュに学校設立。2014年に海
士町に移住し、隠岐島前高校魅力化
プロジェクトに参画。2019年に国内初
となる島根県立隠岐島前高校の学校
経営補佐官に就任。2020年には教育
分野からまちづくり分野に越境し、起
業。学校経営と地域経営の両面から
まちづくりを探究中。
一般財団法人
地域・教育魅力化プラットフォーム
代表理事
岩本 悠
　多くの皆さまの支えと応援により、地域みらい留学をはじめ高校魅力化の取り組みが、
大きく前進した一年になりました。この場をお借りして心から御礼申し上げます。
　各地域の高校生や卒業生たちの成長と活躍の拡がりとともに、共感と共創の輪も、行政
から個人・企業へ、地方から都市・海外へと拡がり始めた手応えと実感があります。地域み
らい留学が当たり前の選択肢となり、生まれた環境は誰も選べなくても、学ぶ環境は誰も
が選べる時代へ。そして、意志ある若者にあふれる持続可能な学校・地域・社会づくりへ向
けて。2024年度は、地域みらい留学をはじめ高校魅力化の更なる進化と飛躍への正念場
の年になります。
　ぜひ皆さまからのご指導・ご支援や忌憚のないご意見・ご提案等をいただきながら、ま
た新たな仲間や協力を広く募り受け容れながら、共に進んでいきたいと思います。 引き続
きどうぞよろしくお願い致します。
企
業
ビ
ジ
ョ
ン
パ
ー
ト
ナ
ー
紹
介
理
事
・
監
事
就
任
の
お
知
ら
せ
財
務
報
告
書
代
表
メ
ッ
セ
ー
ジ
個
人
ビ
ジ
ョ
ン
パ
ー
ト
ナ
ー
紹
介
※50音順に掲載　※2024年3月時点
2023年度 活動計算書
Ⅰ 経常収益
 1. 受取寄付金 102,466,920
 2. 受取助成金等 58,133,000
 3. 事業収益 309,948,933
 4. その他収益 805,399
経常収益計 471,354,252
Ⅱ 経常費用
 1. 事業費 321,709,039
 2. 管理費 110,808,920
経常費用計 432,517,959
当期経常増減額 38,836,293
Ⅲ 経常外費用
 経常外費用計 7,136,900
 法人税、住民税及び事業税 162,006
当期正味財産増減額 31,537,387
単位（円）単位（円） 2023年度 貸借対照表
Ⅰ 資産の部
 1. 流動資産 187,856,841
 2. 固定資産 29,348,287
資産合計 217,205,128
Ⅱ 負債の部
 1. 流動負債 53,262,818
 2. 固定負債 12,792,000
負債合計 66,054,818
Ⅲ 正味財産の部
正味財産合計 151,150,310
負債及び正味財産合計 217,205,128
［ 理事 / 監事 ］
理事・会長 水谷 智之（株式会社リクルートキャリア元代表取締役） 代表理事 岩本 悠（島根県教育魅力化特命官） 専務理事 尾田 洋平
理　　 事 今村 久美（認定 NPO法人カタリバ代表理事）
理　　 事 高槻 大輔（ソーシャル・インベストメント・パートナーズ代表理事 ）
理　　 事 大野 佳祐（島根県立隠岐島前高校 学校経営補佐官
 一般財団法人島前ふるさと魅力化財団 理事
 AMAホールディングス株式会社 代表取締役）
監　　 事 古里 圭史（公認会計士・税理士）
［ 評議員 ］
太田 直樹（前総務省政策アドバイザー）
鈴木 寛（元文部科学大臣補佐官） 大江 和彦（海士町長） 船橋 力（トビタテ！留学 JAPAN エグゼクティブアドバイザー）
日本たばこ産業（JT）株式会社
取締役会長
岩井 睦雄
一般財団法人100万人のクラシックライブ
代表理事
UWC ISAC JAPAN 理事
蓑田 秀策
株式会社アンドパッド
取締役CFO
荻野 泰弘
株式会社フューチャー・デザイン・ラボ
代表取締役会長
竹原 啓二
株式会社ZOZO
取締役副社長兼 CFO
栁澤 孝旨
　日本の各界を代表するリーダーの方々に、私たちのビジョンに
ご共感いただき、ビジョンパートナーになっていただいております。
新しい発想とアイデアで力強く私たちの活動を推進していただき、
共に意志ある未来づくりをしていただいております。
ビジョンパートナーの皆さんが思い描かれて
いる未来についてお聞きした記事は、こちら
からご覧いただけます。
理事・会長 水谷 智之専務理事 尾田 洋平
理事 今村 久美理事 高槻 大輔
株式会社SIGNATE 社外取締役
グロービング株式会社 社外取締役
合同会社山城屋 代表社員
高橋 広敏
株式会社デジタルホールディングス
代表取締役会長
鉢嶺 登
アクサ生命保険株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
安渕 聖司
TOKYO BIG HOUSE株式会社
代表取締役
菊田 寛康
株式会社プログリット
取締役副社長
山碕 峻太郎
06 07